

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市南部身体障害者福祉会館及びふじみ園	評価対象年度	令和3年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 理事長 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

2. 事業実績

利用実績	<p>【南身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕 ・社会福祉教室(オンライン) 1回 100名(大師小学校) 〔作業室〕※令和4年3月31日 ・在籍数:生活介護 15名(定員20名)</p> <p>【ふじみ園】※令和4年3月31日 ・在籍数:生活介護 49名(定員50名) 就労継続B 10名(定員10名)</p>																																													
収支実績	<p>身障会館・作業室全体 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>78,932,247</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>32,036,000</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>388,430</td></tr> <tr><td>その他</td><td>46,507,817</td></tr> <tr><td>支出</td><td>72,298,879</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>52,130,454</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>13,611,110</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>5,442,086</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>388,360</td></tr> <tr><td>その他</td><td>726,869</td></tr> <tr><td>差額</td><td>6,633,368</td></tr> </table>	収入	78,932,247	委託料	32,036,000	就労支援事業	388,430	その他	46,507,817	支出	72,298,879	人件費	52,130,454	事務費	13,611,110	事業費	5,442,086	就労支援事業	388,360	その他	726,869	差額	6,633,368	<p>ふじみ園 (円)</p> <table border="1"> <tr><td>収入</td><td>178,212,285</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>4,279,966</td></tr> <tr><td>自立支援費等</td><td>172,514,379</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,417,940</td></tr> <tr><td>支出</td><td>131,107,719</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>98,425,514</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>17,360,492</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>9,899,003</td></tr> <tr><td>就労支援事業</td><td>4,329,862</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,092,848</td></tr> <tr><td>差額</td><td>47,104,566</td></tr> </table>	収入	178,212,285	就労支援事業	4,279,966	自立支援費等	172,514,379	その他	1,417,940	支出	131,107,719	人件費	98,425,514	事務費	17,360,492	事業費	9,899,003	就労支援事業	4,329,862	その他	1,092,848	差額	47,104,566
収入	78,932,247																																													
委託料	32,036,000																																													
就労支援事業	388,430																																													
その他	46,507,817																																													
支出	72,298,879																																													
人件費	52,130,454																																													
事務費	13,611,110																																													
事業費	5,442,086																																													
就労支援事業	388,360																																													
その他	726,869																																													
差額	6,633,368																																													
収入	178,212,285																																													
就労支援事業	4,279,966																																													
自立支援費等	172,514,379																																													
その他	1,417,940																																													
支出	131,107,719																																													
人件費	98,425,514																																													
事務費	17,360,492																																													
事業費	9,899,003																																													
就労支援事業	4,329,862																																													
その他	1,092,848																																													
差額	47,104,566																																													
サービス向上の取組	<p>・会館では、近隣小学校生徒に来所してもらふ福祉教室は、コロナ禍の影響で中止となったため、市社協と合同で大師小学校とのオンライン交流会を実施した。 ・定期的に近隣の神社清掃、富士見公園の美化活動に参加し、地域の方との関わりを深めている。また、今年度は、富士見公園の花壇清掃以外にも、畑作業にも参加するなど地域貢献を行っている。</p>																																													

3. 評価 (評価段階:5~1.標準:3.加点割合:5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・作業室では、自主製作品の外部販売が叶わないことから、代替えとなる授産作業を開拓し、2種の作業を導入して工賃の確保をした。また、今年度できた南部リハビリテーションセンターのセラピストと協力し、オリジナルの体操プログラムを作成し、体の可動域向上に効果を上げた。 ・ふじみ園では、作業を中心とした活動の中で、社会経験の拡大を目的とした外出は今年度もコロナ禍で中止となったため、グランドゴルフ、ウォーキング、室内ゲーム等のグループ活動を複数回行い、またお祭りなどの行事を行うことで日々の充実につながった。</p>					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>・支出については、事業計画に基づき、予算の範囲内で執行されており、適切に執行されている。 ・概ね良好な収入状況であり、適切な会計処理が行われている。</p>					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館で満足度調査を行い、要望などを受け実施したことなどをフィードバックしている。また、利用団体とも機会をとり、コミュニケーションをとり、要望等に対応している。 ・作業室では、定期的に行う利用者の会や家族会で作業室に対する意見を聞き、充実した利用につながるよう取り組んだ。 ・ふじみ園では、毎月開催される職員会議や支援グループごとの会議、毎月2回のミーティングでよりよいサービス提供ができるよう利用者の状況を確認し日々の支援を検証し現状分析、課題把握等を行った。 ・仲間の会を定期的に開催し、給食のメニュー、行事等の企画の希望を引き出すなど、利用者主体の支援を行っている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全の取り組みとして、利用者支援に関することを1人1人ケア会議で確認し、事故防止のためマニュアル化し職員間で共通認識を持った。またBCPと水害対策マニュアルを作成することで災害に対する対策強化を図った。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
	<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に沿った施設管理が行われている。また、個人情報の取扱いに配慮し、適正に管理している。 				

4. その他加算

分類	項目	着眼点			評価点
その他加算	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			0
	(評価の理由)				

5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・会館では、障害者に関する基礎的な知識や接し方を学ぶことを目的とした社会福祉講座が、コロナ禍の影響で中止となったため、市社協と合同で大師小学校とのオンライン交流会を実施するなどの工夫を行っている。
・作業室では、販売会が開催されない中、自主製作品の外部販売が叶わないことから、代替えとなる授産作業を開拓し、2種の作業を導入して工賃の確保をしたこと、また納品時に利用者も同行することでやりがい向上させていることが評価できる。
・ふじみ園では、作業支援において部品の組み立てが主な作業であるが、新たな作業に取り組む機会を設けることで、支援プログラム全体の幅を広げたことが評価できる。

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・今後も利用者の高齢化や重度化が進んでいくため、課題を整理しながら、状況に合わせて支援マニュアル等を定期的に見直す仕組みを作ること。